

日本防蝕工業株式会社

入 社 案 内

サビない 想いがここにある



NCE Recruit Guide

日本防蝕工業株式会社は、電気防食技術で
半世紀以上にわたり重要なインフラを守っています。



日本防蝕工業株式会社
THE NIPPON CORROSION ENGINEERING CO., LTD.

地上、海、地下 — 「錆」から、あらゆるインフラを守り抜く

街のライフラインであるガス管や水道管などの埋設配管、貿易を支える港湾施設、

そして暮らしを支える発電所や工場など、私たちの生活の裏側では多くの金属が使われています。

金属には必ず「錆び」が発生します。錆は音もなく進行するため、気づいたときには深刻な被害を引き起こすこともあります。

日本防蝕工業は、この「無音の侵略者」と半世紀以上にわたり向き合い、社会インフラを守ってきました。

埋設配管・港湾施設・発電所など、多様な設備に対して最適な電気防食技術を提供し、

金属の腐食を未然に防ぐことで、人々の暮らしと社会の安全を支え続けています。

What is NCF?

日本防蝕工業とは？

約二百年前、日本防蝕工業の主力事業である電気防食は、木造軍艦の船体外板に張られた銅板の腐食を防ぐ技術として誕生しました。

「よりイオン化傾向の高い金属をつなぎ、身代わりに腐食させる」という発想＝「流電極方式」の始まりであり、当社が手がける電気防食技術の原点です。この技術の登場により、鉄をはじめとする金属構造物の寿命は飛躍的に延びました。

当社は電気防食のパイオニアとして技術を磨き上げ、現在では多様な環境下にある金属を守る防食技術として幅広く応用されています。土や海の中といった過酷な環境におかれている金属を錆から守るためには、

環境条件や対象となる金属の種類に合わせて、最適な設計をする必要があります。日本全国

の支店・営業所に加えて自社工場を持つ当社は、「防食のプロフェッショナル」として、

精密な設計から材料の製造、施工、点検までを一貫して行い、安全で持続可能

な社会を支えている総合防食エンジニアリング企業です。

船舶

日本の貿易に欠かせない船舶。船舶はタンカー、コンテナ船、客船など多種多様であり、いずれの船舶も常に海水による腐食リスクに晒されています。船体やプロペラなどの金属部分の腐食は安全性や運航に影響します。船舶の健全性と、安全な海上輸送は、当社の電気防食技術によって支えられています。



洋上風力

自然の風で電気をつくる洋上風力発電は、脱炭素社会に向けて注目される再生可能エネルギーです。風車を支える海中の基礎部分は腐食しやすいため、腐食対策が欠かせません。当社の電気防食技術は、新たなフィールドにおいても活躍しています。



プラント

日本の産業を支える発電所や製油所などのプラントには金属設備が多く、腐食が進むと操業トラブルや停止につながる恐れがあります。安定稼働のためには、設備の健全性確保が不可欠です。当社の電気防食技術は、プラントの安全で効率的な運転を支えています。



コンクリート構造物

潮風に含まれる塩分が海沿いのコンクリート構造物内の鉄筋に達すると次第に鉄筋の腐食が進みます。錆びた鉄筋の膨張が原因となり、コンクリートにひび割れや剥落が生じ、構造物の強度が低下します。当社の電気防食技術は、鉄筋を腐食から守り、構造物の長寿命化に貢献しています。高速道路や橋梁など、身近なインフラにも当社の技術が活かされています。



埋設配管

ガス管や水道管などの埋設配管が腐食すると、人々の生活を脅かす事故の発生リスクが高まります。蛇口をひねれば水が出る、スイッチを入れれば火が付く、そんな「当たり前」の生活も、ガス管や水道管が電気防食によって健全な状態であり続けるからこそ成り立っているのです。



海洋・港湾施設

日本の貿易を支える港湾施設には、岸壁や防波堤など、さまざまな構造物があります。これらの施設には多くの金属部材が使用されており、海水や潮風にさらされることで腐食が進みやすい環境にあります。海に囲まれた日本において、電気防食によって港の機能を守ることは、人々の豊かな生活の継続に直結します。



それぞれのスキルを活かして、社会と生活の『安全』に貢献します



東京支店 第一技術部
海洋・プラントチーム

K.T

2020年入社。
産業理工学部卒業。
大学で専攻した電気回路の知識を土台に、配属後は現場の実務を経験しながら、防食関連の専門技術を習得。現在は国内外の造船所を訪れ、多種多様な船舶の防食設計と現場施工を担当している。

技術部

豪華客船から艦船まで 国内外を飛び回り、多種多様な船舶を防食

幼い頃から海に親んできた背景から「海に関わる仕事がしたい」と考え、日本防蝕工業に入社しました。現在は船舶の防食設計と現場施工を担当し、客船や運搬船、艦船など、さまざまな船舶の防食に携わっています。

現場ごとに異なる条件や限られた工期の中で最適な防食方法を考えながら工事を進めていくことに大きなやりがいを感じています。一般には立ち入ることができない船内や造船所に入れることも、この仕事ならではの醍醐味です。船の機関長や乗組員の方には外国人も多いため、業務中の会話やメール対応を重ねるうちに必要な英語力は自然と身につきました。彼らとのやり取りは非常に楽しく、旅先で自分の担当した船を見かけたときの達成感は格別です。

最初はわからないことも多いですが、経験豊富な先輩が丁寧にサポートしてくれるので、未経験の方も安心して飛び込んでください。

■ 新造船に対する業務フロー

※業務フローは代表的な一例です。

1 初期選定	2 防食設計	3 材料手配・納品	4 取付工事	5 装置試運転	6 引き渡し
船の仕様や使用環境を踏まえ、適切な装置と防食システムを選定する。	クライアントと打合せを重ね、防食システムを設計する。	必要な材料や機器を手配し、納品までを管理する。	納品した材料の取付工事を行う。(案件によっては工事を行わない場合もある)	試運転によりシステムの作動状況の確認と、最終的な調整をする。	最終調整完了後、クライアントへの完成図の提出によって、業務完了となる。



東京支店 第一技術部
海洋・プラントチーム

H.H

2018年入社。
政治経済学部卒業。
防食や化学の知識を基礎から身に着け、技術職に挑戦。現在は関東エリアの港湾施設で防食設計と施工管理を担当し、東京オリンピックに参加する海外の選手団を受け入れるフェリー乗り場など、大規模の防食工事にも携わっている。

技術部

文系出身からプロの技術者へ。成長と私生活の両面を支えてくれるキャリアパス

文系出身だったため、入社前は同期との知識の差に不安を感じていました。しかし大学で防食を専門に学んでいた同期は少なく、意外にもフラットなスタートでした。

入社から8年を経た今、重要なのは事前知識よりも入社後の姿勢だったと感じています。先輩社員とのやり取りを重ねるうちに防食の知識は自然と培われ、約半年で独り立ちできました。入社後は東京オリンピックなどの話題のプロジェクトに関わることができ、ひとつ一つの仕事が私の財産になっています。

家族の体調が崩れた時には早退を申請しやすく、育児休暇も会社が後押ししてくれました。私生活上の事情に対する周囲の理解は心強く感じています。

専門領域での着実な成長を支援してくれるだけでなく充実した私生活が送れるよう、手厚く支えてくれる会社です。

将来を安心して描ける職場へ、新たな一步を踏み出してみませんか。

■ 防食をしていない(無防食)港湾施設に対する調査～工事までの業務フロー

※業務フローは代表的な一例です。

1 現地調査+提案	2 設計	3 着工前準備	4 工事(施工管理)	5 電位測定	6 報告書作成
無防食施設の現地調査による腐食状況の評価をもとに、最適な防食方法を提案する。	提案が採用された後、構造物の条件に合わせて防食システムを設計する。	材料手配に加え、工事に必要な各種手続きを関係機関へ行う。	潜水会社(協力会社)と連携をとりながら、海中での作業を含め、工事の進行・品質・安全を管理する。	施工後に防食効果の基準である電位を測定する。	工事結果を報告書にまとめ、クライアントへ提出する。



東京支店 第一技術部
導管・タンクチーム

S.K

2023年入社。
生命科学部卒業。
大学時代に学んだ無機化学・合金腐食の知識を活かし、現在は東京支店で関東エリアにおいて、水道管やガス管といった埋設管の施工管理と点検業務を担当。人々の生活を支えるインフラの維持に日々取り組んでいる。

技術部

学び続けてきた知識と理論で、 社会のインフラを支えていく

大学時代に腐食を学んだことから、就職活動では腐食や化学を専門とする企業を探していました。その中で特に惹かれたのが日本防蝕工業です。経営理念や環境問題への取り組みに共感でき、さらに安定した基盤を持っている点が魅力的でした。

入社後に実感しているのが、「学んできたことが活きる」点です。腐食に関する基礎知識があるので新しい理論が吸収しやすく、お客様への説明もスムーズに行えています。資格取得の支援制度があるので、常に新しい学びに挑戦できる環境も魅力の一つです。

さまざまな現場で設計や施工方法を検討し、無事に工事を完了できた時のやりがいは特別です。クライアントから感謝の言葉をいただく瞬間は何よりうれしさを感じますね。

私にとって防食は「学んできた理論を実際に構築できる仕事」です。「なんの役に立つのだろう」と感じていた知識が現場で形になっていく楽しさは、この仕事の醍醐味だと思います。

■ 電気防食を設置している埋設配管に対する定期点検フロー

※業務フローは代表的な一例です。

1 打合せ	2 準備	3 点検	4 報告書作成	5 提案
クライアントと点検項目・対象範囲・スケジュールなどについて事前に打合せを行う。	点検に必要な各種手続きを関係機関へ行う。	装置が正常に稼働していることや、防食効果が対象箇所に適切に届いていることを点検する。	点検結果を報告書にまとめ、クライアントへ提出する。	防食効果の低下や不具合が確認された場合、新たな提案を行い、追加調査や工事につなげる。



東京支店 営業部
海洋・プラントチーム

M.H

2023年入社。
社会学部卒業。
入社後、半年間の研修を経て、技術職に配属。1年の技術経験の後に営業職に異動。現在は関東圏を中心に、プラント施設を所有するクライアントからの相談対応、当社からの提案、製品の手配・販売など多種に亘る業務を担当している。

営業部

部署の垣根を超え、お互いに リスペクトし合える仲間がいるから挑戦できる

入社当時は営業職を希望しましたが、初期配属は技術職で、約1年間の経験を積んだ後に営業職へ異動しました。

営業職に異動した今は、発電所や工場を所有するクライアントへの最適な提案を組み立てる難しさと楽しさを日々感じています。それぞれのプラントに適したスキルを持つ社内の技術者と連携をとりながら進めたプロジェクトが、次の仕事につながった時は大きな達成感を感じます。

この会社の一番魅力は、人間関係の良さです。研修中のサポートをはじめ、配属先での日々の疑問も先輩が即座にフォローしてくれます。文系出身の私でも、専門的な防食という分野に対して前向きに挑戦を続けられるのは、先輩・後輩の垣根なく切磋琢磨できるこの環境のおかげです。休日には趣味を通じて集まったり、社内チームを結成して駅伝に参加したり、公私でも交流が盛んで、仕事はもちろんプライベートでもリスペクトし合える仲間がいます。人間関係と職場環境を重視して会社を選びたいと考えている方に、自信を持っておすすめできる職場です。

■ 新設プラント設備に対する提案営業フロー

※業務フローは代表的な一例です。

1 お問い合わせ対応	2 防食提案	3 設計依頼	4 見積提出・契約	5 材料手配	6 納品・試運転調整
クライアントより新設プラント設備の腐食対策について相談を受ける。	技術部と連携をとり、設備に最適な電気防食方法を検討のうえ提案する。	採用された防食方法に基づき、技術部へ設計を依頼する。	設計をもとに見積書を作成のうえ提出。合意後、契約を結ぶ。	自社工場などへ製品手配を行い、製作・準備を進める。	完成した製品をクライアントへ納品した後に、試運転によりシステムの作動状況の確認と、最終的な調整をする。

充実した福利厚生とキャリア支援で、安心して働ける環境を提供します

新入社員教育

入社後は、約半年間の段階的な研修において、社会人としての基本から会社の概要、電気防食の基礎知識まで幅広く学ぶだけでなく、実務経験を積んでいただくことで、未経験者も安心して働き始められる体制づくりをサポートします。

 ビジネスマナー研修 自信をもって社会人としての一歩を踏み出せるように、ビジネスマナーを学ぶ機会を複数回ご用意しています。 	 技術研究所研修 実験を交えながら防食技術の基礎を学んでいただきます。腐食・防食に馴染みのない方にもわかりやすくご説明いたします。 	 本社研修 会社の事業や経営理念への理解を深めていただきます。入社後最初の業務は、日本防蝕工業について知ることです！ 	 支店研修 営業・施工管理を中心とした業務を学んでいただきます。実務に触れることで、業務のイメージをより具体的に掴むことができます。 	 工場研修 当社製品の製造工程を学んでいただきます。自社製品の強みや作られ方の理解は、顧客への提案力強化や的確な設計・予算管理に繋がります。 ※製造部門への配属はございません。 
---	---	--	--	---

各事業所・部署へ配属

配属の流れ

新入社員研修終了

▶ 面談にて配属希望先をヒアリング

▶ 会社が配属先を決定

▶ 配属

社員の声①: 研修で実務経験を積めたため、自分が実際にどの部署で働きたいかを強くイメージしながら配属希望を考えることができました。

社員の声②: 十分な研修期間のおかげで、業務理解を深めることはもちろん、会社になじむこともできました。

キャリア支援制度

社内で広がる学び



**社員の知識は会社の財産。
学びの場を会社が提供します**

勤続年数や立場に合わせた教育をご用意しています。定期的に社内勉強会の開催もあり、新たな知識を取り入れたり、情報交換をしたりすることができます。

資格取得に向けて



**一生モノのスキルを手にステップアップ。
挑戦を支える充実の制度**

スキルアップのための資格勉強を積極的に取り組めるよう、資格取得の支援制度をご用意しています。見事資格を取得された方には、資格手当が支給されます！

成果を可視化する



**頑張った成果を正当に評価。
積み重ねた成長にしっかり還元します**

会社と社員の両者の成長を目的として、毎年目標設定やパフォーマンス評価をしています。目標達成や高い評価を受けると、昇給・昇格に繋がります！

福利厚生

1 毎日の暮らしにゆとりをもたらす働き方を

新生活を迎える皆さんを含む従業員全員が安心して働けるように、“毎日の暮らし”を支える制度や環境を整えています。**手厚い住宅のサポート**は社員から大好評。入社直後はスムーズに新生活をスタートでき、将来はライフスタイルに合わせた支援を受けられるため、長く安心して暮らせます。土日休みの完全週休二日制で、**年間休日は120日以上**を確保。さらに**会社独自の特別休暇**もあるため、オン・オフの切り替えがしやすい職場です。



2 ライフステージが変わっても働き続けられる職場へ

結婚・出産・介護など、人生の節目を迎えても安心して働き続けていただきたい。そのため、**育児・介護休業の取得後押し**はもちろん、復帰後は時短勤務をはじめとした柔軟な働き方の選択が可能。さらに、家族やプライベートとの両立を支えるための特別な**両立支援休暇**も整備しています。ライフステージが変わっても「キャリアをあきらめない」働き方を実現できることが、当社の大きな強みです。



3 仲間と一緒に働く楽しさを広げる

仲間と働く日々がより充実したものになるように、さまざまな交流・支援制度を設けています。部署や年次を超えた交流を後押しする、**親睦会やクラブ活動の費用サポート**によって、仕事以外の場でも自然とつながりが生まれ、チームワーク向上にもつながっています。さらに、日々の努力や成果をたたえる表彰制度も用意しており、チームの頑張りを会社がしっかり評価します。仲間と支え合いながら成長の実現が可能です。



4 働く“その先”も見据えたサポートで将来の安心を提供します

働く“今”だけでなく、“その先の人生”も安心して描けるよう、当社では将来に備える制度を充実させています。安定した資産形成を支えるために、**退職金は自社制度と社外制度の二本立て**。長く働くほど将来の安心が積み重なります。また、**自社株を購入できる制度**をつうじて、会社の成長を自分の資産として実感できることも大きな魅力です。キャリアを積みながら、未来の自分にも着実に投資できる環境を提供しています。



採用担当メッセージ

社会と生活の安全を支える防食。新たな課題にも協力しあい、前向きに挑戦できる人材を

「優れた防食技術を活かし、社会と生活の安全に貢献する」。これが日本防蝕工業の掲げるミッションです。

採用の際に私たちが重視しているのは、専門知識だけでなく「人としての姿勢」です。最適な設計・施工を行うためには、個人やチームの枠を超え、あらゆる知見を持ち寄って協力し合う必要があります。だからこそ、人と連携しながら前向きに挑戦できる、難しい課題にも粘り強く向き合える人材を求めているのです。

少しでも「防食ってどんな仕事だろう?」「自分もここで成長してみたい」と感じた方は、ぜひご連絡ください。ここには、あなたが力を発揮し、さらに成長していける環境があります。ともに未来を切り拓いていける日を、私たちは楽しみにしています。



上 紗佳 2022年入社

入社後、半年間の研修期間を経て総務部へ配属。配属後は総務部の幅広い業務に携わり、採用分野でも中心的な役割を担っている。学生みなさんに近い目線で情報を届けている。

津田 純平 2015年入社

入社後、営業部で約9年間、港湾関連業務を担当。その後、総務部へ異動し、社内業務全般や採用業務に携わる。現場のリアルな情報発信を心がけている。



日本防蝕工業株式会社



<https://www.nitibo.co.jp>

会社概要・沿革・事業所案内はこちら

